

ソプラノギター
田中美絵
中島友子
アルトギター1
上原佑介
子安里奈
児玉孝子
河村彩花
アルトギター2
川瀬恵子
田中里奈
遠藤三恵
金森美保
プライムギター
岡大輔
市若悠太
伊貝陽太
竹澤美穂
内田三之
石井敦子
井川恭子
久世麻子
佐藤毅
吉白百合
高田美幸
バスギター
林健一
田村美加
林圭子
岸田等
高野沢
西川唯
川瀬由里

ギター
勝野佳彦 パートリーダー
河合威昌
高橋徳史 岐阜ギター合奏団副団長
西脇明宏
複弦アルトチェンバロギター
田中美絵
複弦プライムチェンバロギター
林健一
マンドリン
田中美絵 パートリーダー
光山慶子
エレキギター
勝野佳彦
ウクレレ
澤田一三
鍵盤ハーモニカ
竹内美穂
十七絃
川瀬由里 川瀬ギター教室等・三味線講師
ボーカル
古田敬子
長谷川由美子
光山慶子
高田美幸
児玉孝子
パーカッション
林健一
林裕美
指揮者
川瀬啓嗣
市岡大輔
林健一

コンサートマスター/川瀬ギター教室講師

パートリーダー

パートリーダー/川瀬ギター教室講師

合

パートリーダー/川瀬ギター教室講師

岐阜ギター合奏団団長

岐阜ギター合奏団 団員募集中

練習日時
火曜日 10:00~12:00
水曜日 18:00~20:00
土曜日 18:00~20:00
日曜日 13:00~15:00
(月に4回各1回ずつ)

練習会場
瑞穂市総合センター あじさいホール
大垣市墨俣地域事務所 大会議室
大垣市赤坂東地区センター

今後の予定
2017年6月3日(土) 14:00~
川瀬由里 第13回等・三味線教室発表会
会場:瑞穂市総合センター あじさいホール 入場無料

9月30日(土)・10月1日(日)
第28回 川瀬ギター教室発表会
会場:瑞穂市総合センター あじさいホール 入場無料

8月27日(日)独・重奏部門10:30~ 合奏部門13:00~
第26回中部・関西ギターフェスティバル
愛知県春日井市民会館 入場無料

10月8日(日)
瑞穂音楽祭 第18回ファミリーコンサート
瑞穂市総合センター サンシャインホール 入場無料

お問い合わせ
川瀬ギター教室
〒501-0221 岐阜県瑞穂市只越1059-3
TEL&FAX058-326-3956
E-MAIL info@kawase-guitar.com
ホームページ kawase-guitar.com

第14回 岐阜ギター合奏団定期演奏会

第25回 中部・関西ギターフェスティバル 金賞受賞記念

平成29年5月14日(日)

開場13:00 開演13:30

大垣市サイトピアセンター 音楽堂

入場無料

出演 岐阜ギター合奏団
岐阜ギターアンサンブル
指揮:川瀬 啓嗣



主催 岐阜ギター合奏団、岐阜ギターアンサンブル
後援 大垣市、大垣市教育委員会、[学校法人]国際新堀音楽学院、[学校法人]日本ギター専門学校[学校法人]新堀芸術学院、川瀬ギター教室、日本教育ギター連盟岐阜支部

第1部

- ハンガリー舞曲第5番
作/ブラームス 編/川瀬啓嗣 岐阜ギターアンサンブル エレキギター・ソロ/勝野佳彦
- シューベルト「ます」第4楽章
作/シューベルト 編/田中美絵 岐阜ギターアンサンブル
- ニュー・シネマ・パラダイス
作/モリコーネ 編/寺田和之 岐阜ギターアンサンブル
- タンゴ・アン・スカイ
作/ディアンズ 編/川瀬啓嗣 岐阜ギターアンサンブル ギター・ソロ/上原佑介
- マルセリーノの歌
映画『汚れなき悪戯』の挿入歌 編/市岡大輔 岐阜ギター合奏団
- 映画『風立ちぬ』より旅路
作/久石 譲 編/市岡大輔 岐阜ギター合奏団
- 丘を越えて
作/百瀬賢午 岐阜ギター合奏団
- 365日の紙飛行機
「あさが来た」主題歌 編/林 健一 岐阜ギター合奏団 ボーカル/高田美幸 長谷川由美子
- 残酷な天使のテーゼ
アニメ『新世紀エヴァンゲリオン』 編/川瀬啓嗣 岐阜ギター合奏団 ボーカル/児玉孝子
- スカボロー・フェア
イギリス民謡 編/川瀬啓嗣 岐阜ギター合奏団 ボーカル/古田敬子 長谷川由美子
- 牧場の小道
チェコスロバキア民謡 編/小山秋子 岐阜ギター合奏団 ボーカル/古田敬子 長谷川由美子 光山慶子
- 海のファンタジー
作/藤掛廣幸 岐阜ギター合奏団 ボーカル/古田敬子 長谷川由美子 光山慶子

曲目紹介

第1部

- ♪ハンガリー舞曲 第5番
ヨハネス・ブラームス(1833-1897)がハンガリーのジプシー音楽に基づいて編曲した舞曲集。もとは四手用のピアノ曲として書かれ全部で21曲あり、管弦楽用に他者によって再編曲された第5番がとりわけ有名です。近年ハンガリーのギタリスト、ヨーゼフ・エトヴェシュによるこのハンガリー舞曲集を自ら全曲ギターアレンジした演奏があり、ギターとの相性もなかなか良いのではないかと思います。今日はソロをエレキギターに迎え、ギター合奏の編曲でお楽しみいただきます。
- ♪シューベルト 「ます」 第4楽章
フランツ・ベーター・シューベルト(1797-1828)が22歳、まだ若々しく希望と幸福にあふれていた時期の名作として知られるピアノ五重奏曲。自身の歌曲「ます」の旋律による変奏曲であるために「ます」という副題がつけられました。歌曲の歌詞には水の中に現れては消えるますを、ずる賢い釣り人が罠を使って釣り上げるさまを取っています。「ます」と「釣り人」の駆け引きをシューベルトは見事に変奏曲に仕上げました。
- ♪ニュー・シネマ・パラダイス
1988年に公開されたイタリア映画「ニュー・シネマ・パラダイス」よりメドレーで4曲続けて演奏します。中年男性が映画に魅せられた少年時代と青年時代の恋愛を回想する物語。感傷と郷愁、映画への愛情が描かれた作品であり、作曲をしたエンニオ・モリコーネ(1928)はこの映画で世界的にも高い知名度を得ました。
- ♪タンゴ・アン・スカイ
現代のクラシックギター曲で抜群の人気曲のひとつ。チェコ出身フランス人のローラン・ディアンズ(1955-2016)は類稀なる作・編曲家であり演奏家でした。1985年に作曲されたこのタンゴ・アン・スカイの「アン・スカイ」とはフランス語で「合成皮革」という意味で、日本語に訳すと「まがいものタンゴ」。もとはギター独奏曲ですがそれに弦楽を加えた演奏もディアンズ自身が編曲しています。今日はその弦楽版をギターに置き換えて演奏します。
- ♪マルセリーノの歌
1955年製作のスペイン映画『汚れなき悪戯』より。バプロ・ソロサバル(1897-1988)は、芸術音楽と映画音楽の両方で活躍したスペインの作曲家です。マルセリーノとは映画に出てくる少年主人公の名前で、両親を亡くしたその孤児を修道士たちが懸命に育てる中での挿入歌です。何度も教会の鐘のモチーフが出てきます。
- ♪映画『風立ちぬ』より 旅路
2013年に公開されたジブリ映画より、作曲はお馴染みの久石譲です。川や海と同じように風に任せろよそよ風や暴風があり、それを人生の旅路に重ねた曲です。原曲には久石譲さんには珍しくロシアの民族楽器、マンドリンに似たバラライカやアコーディオンに似たバヤンといった楽器が使われています。
- ♪丘を越えて
1931年藤山一郎の歌唱によって発表された昭和歌謡であり、また同年に発表された新興映画『鐘』の主題歌です。だがもとは「ピクニック」という明治大学マンドリン倶楽部のマンドリン合奏曲として作曲されました。今日演奏するのは新編ギター音楽院の百瀬氏による壮大な編曲で、第1部の締めたいと思います。

第2部

- ♪365日の紙飛行機
NHK連続テレビ小説『あさが来た』の主題歌として制作され、AKB48の楽曲です。歌詞は女性の生き方に制約の大きかった時代を言い訳にせず冒険し続けたヒロイン・白岡あさ(波瑠)の「屈託のない生き方」を、力を入れるとあまり飛ばず風に乗るとどこまでも飛ぶ紙飛行機に例えています。第2部からは歌声と共にギター合奏をお楽しみ下さい。
- ♪残酷な天使のテーゼ
1995年に放映されたテレビアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』のオープニング曲。いまやアニメソングの定番曲としてアニメと共に根強い人気を誇ります。ギター合奏においてはボーカルの他、パーカッションやシンセサイザーが入り場面の切り替わりが激しく、飽きない展開になっています。
- ♪スカボロー・フェア
この歌の舞台は中世末期、当時ヨークシャー地方の北海沿岸のスカボローはイギリス中の商人の重要な交易拠点でした。そこには道化師や手品師が集い、8月15日からは45日間の巨大な長期間の市が行われていました。これがタイトルになっているScarborough Fair(スカバラの市)です。吟遊詩人が町から町へ歌を伝え歩くに従って変化し、何十もの詩が出来上がったが、一般化して歌われたものは少なく、サイモン&ガーファングルによって有名になった編曲は19世紀末に生まれたものです。
- ♪牧場の小道
チェコスロバキアの民謡。アメリカで歌われた後、戦後日本へ渡って来たが、『みんなのうた』で紹介されるまでは、放送やレコードで取り上げる事が無い歌でした。曲中に歌われる「ストラバノバ」とは、チェコでは「農場の井戸」を意味しているが、この曲では「雉子言葉」として使われています。
- ♪海のファンタジー
作曲家藤掛廣幸(1949-)は岐阜県出身。この曲は150人を擁する松阪商業高校ギタークラブより依頼、三パートに分かれた歌も入るような作詞・作曲され、1996年海の記念日に初演されました。途中長いフーガと中間部の後、フォルテシモとともに曲は大きな節目を迎え、静かに冒頭のメロディへと回帰します。そして今回は3名によるコーラスの入るところが、この曲一番の聴かせ所となります。

PROFILE

岐阜ギター合奏団

1985年1月に結成以来、6種類のギターを中心に、マンドリン、パーカッション、管楽器や、和楽器まで積極的に取り入れ、岐阜県最大のギターオーケストラとして活動を続けています。約2年に一度の定期演奏会をメインイベントとして、岐阜県ギター・マンドリンフェスティバル、瑞穂音楽祭ファミリーコンサートには毎年参加し、昨年の第25回中部・関西ギターフェスティバルでは、合奏部門において金賞を受賞しました。また慰問演奏にも積極的に向い、一筋に歌いながら大変喜んでいただいています。世代を超えて集い、あたたかなサウンド作りをすること、そして大好きな音楽を楽しむことが目標です。

岐阜ギターアンサンブル

1985年1月に結成。これまでに数々のコンクールにおいて入賞、幾多の演奏会を開催。もっと深く、高度なギター音楽を追求したいという意欲でいっぱいメンバーは、川瀬ギター教室在籍生・講師・大垣高校OB・富田学園OB・大学ギター部出身等、学生から社会人まで年齢・職種も様々ですが、ギターを愛する気持ちはみな一緒です。また、団員よりギター専任講師5名、講師6名が育ち、ギター音楽普及に活躍しています。

川瀬啓嗣

日本ギター専門学校を卒業後、1985年、岐阜にギター教室を開設。現在は、穂積教室、大垣教室、岐阜教室と3つに増え、岐阜県唯一のギター属すべての楽器をレッスンできる教室として活動しています。岐阜ギター合奏団、岐阜ギターアンサンブルを主宰・指導し、定期演奏会を開催。また数々のコンクールで入賞。その他中学・高校・大学においてギター・マンドリン合奏の指導や、音楽の授業を担当。日本教育ギター連盟岐阜支部長。岐阜県マンドリン協会顧問。

中学生から80代の方まで様々な年代、様々な職種の方一つの音楽を一緒に奏でることは、人が人を思いやる心を大きく育み、人と人のつながりの大切さを感じることができると、強く思います。今年で創立32年となりました。本日の演奏会は、30年間あたたかく支え続けてきた皆様、その感謝の想いで胸をいっぱいしてお届けしたいと思います。幅広い年代と職種の方により多く参加してもらえよう。月に4回の練習は曜日も時間帯もバラバラにしています。経験も年齢も一切問いません。弾けなくてもギターと音楽が好きなたちが集まっています。楽器は、ギターでなくてもかまいません。団員は常に募集しております。1人でも多くの方にご参加いただきたいと、団員一同、お待ちしております。